

富津市社会教育委員会議会議録

1	会議の名称	平成 28 年度第 1 回富津市社会教育委員会議
2	開催日時	平成 28 年 6 月 30 日 (木) 午後 3 時 00 分～午後 4 時 32 分
3	開催場所	富津市役所 502 会議室
4	審議等事項	(1) 平成 27 年度富津市社会教育事業について (2) 平成 28 年度富津市社会教育事業について (3) 富津市生涯学習推進体制と社会教育委員について (4) 富津市社会教育員の活動について
5	出席者名	(委員) 石井喜美子、宮内和男、小泉定男、川名健一、石井聡、大野泰代、三富和彦、高橋栄二、杉田玲子、磯貝順子 (事務局) 岡根教育長、能城教育部長、山口生涯学習課長、伊藤社会教育係長、平野主事、市川社会教育指導員、川名社会教育指導員、仲野家庭教育指導員、金子事務補助員
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 80-1345
10	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第1回 富津市社会教育委員会議会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 山口課長</p>	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日は何かとお忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。進行を務めます生涯学習課長の山口と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、4月28日付け及び5月26日付けで、新たに委員になられました皆さんに委嘱状の交付をさせていただきます。お名前を読み上げますので、その場でご起立をお願いいたします。岡根教育長と能城教育部長が皆様の前へ回ってまいりますので、お1人ずつお受け取り願います。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>(委嘱状を交付する。)</p>
<p>(事務局) 山口課長</p>	<p>それでは新しく委員となられた方もいらっしゃいますし、本年度第1回目の会議でございますので、委員の皆さんの自己紹介を行います。はじめに三富委員長からお願いいたします。</p>
<p>各委員</p>	<p>(自己紹介をする。)</p>
<p>(事務局) 山口課長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、事務局職員の自己紹介を行います。教育長からお願いいたします。</p>
<p>各職員</p>	<p>(自己紹介をする。)</p>
<p>(事務局) 山口課長</p>	<p>それでは本日の会議についてご説明いたします。本会議は、富津市情報公開条例第23条第1項の規定により公開となります。このため、後ほど会議録署名人2名を決めていただきたい</p>

と思います。また、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承を願います。会議に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。本日の出席委員は10名、欠席委員は3名でございます。したがって、過半数の出席がございますので、社会教育委員会会議運営規則第3条第5項の規定により、会議は成立いたします。

それでは、ただ今から平成28年度第1回富津市社会教育委員会会議を始めさせていただきます。三富委員長よりごあいさつをいただきます。

三富委員長

6月末という月末の大変お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。この社会教育委員会会議では、なかなか全委員が揃う機会がないような状態が続いております。1つは各団体からの充て職で委員になっている方の選考が遅れていたことなどがあると思います。

今年は千葉県で社会教育委員の全国大会が開催される年であり、それに関連してアクションを起こそうということで昨年は社会教育委員の自主研修など新たな取り組みを行いました。内容としては、高橋委員を講師として近隣自治体の生涯学習・社会教育の現状と課題という形で講義をいただきました。富津市には県内に80市町村があった頃から図書館がないと知られているなど課題がそれぞれの分野であります。同じ君津地区の4市でも社会教育での課題は異なりますし、推進体制に大きな違いもあります。また、県全体に目を向けますと、都市部では公民館活動が非常に活発なところもあり、多くの自治体での違いを学ぶことができます。しかし、予算の都合や皆さんの予定などで研修を実施しきれているとはいえません。

この会議では、事務局からの報告を短めにし、できるだけ委員の皆さんからの提案や情報交換ができればと考えております。よろしく申し上げます。

<p>(事務局) 山口課長</p>	<p>ありがとうございました。次に岡根教育長よりあいさつを申し上げます。</p>
<p>(事務局) 岡根教育長</p>	<p>事務局を代表してごあいさつを申し上げます。新しく委員になられた方々、よろしく申し上げます。今までのキャリアを踏まえた新しい考えを仰っていただけると幸いです。</p> <p>富津市では大綱に「豊かな心を育む文化の香る町」というスローガンを掲げております。学校教育はもとより、1人1人のライフステージに応じた学習機会の充実に努めております。各公民館などでの活動も皆さんの働きもあり、充実したものとなっておりますが、さらに知恵を絞っていただき多様な活動が可能となればと考えております。</p> <p>この6月に行われた議会において、この会議に関連するものとして、図書館の整備はどうなっているのかという話がありました。委員長から話があったように80市町村あったものが54市町村となり、図書館のない市は富津市といすみ市だけとなり、図書館の進捗状況はどうなのかとの質問がありました。富津市ではすべての公共施設を公共施設管理計画において見直していくところであり、その中で図書館についても検討していくと答弁いたしました。そのような現状ですので、委員の皆さんのご意見を伺うことができると考えております。</p> <p>また、生涯学習バスについても皆さんのニーズに沿った利用ができているのかという質問がありました。バスの車両は老朽化しており、新しい車両に替えていくということで動いていますが、台数やキャパシティの課題が残っております。1つの方針として、新しい車両にすることによって、故障などで運行できない事態が生じないようにと考えております。</p> <p>いずれの問題も委員の皆さんのご意見をいただいて、より良い方向へとしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>

<p>(事務局) 山口課長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまから議事に入りたいと思います。議長につきましては、富津市社会教育委員会議運営規則第3条第4項により、「会議は、委員長が議長となる。」と規定されております。ここからは、三富委員長に議長をお願いいたします。はじめに、会議録署名人2名を決めていただきたいと思います。それでは、三富委員長お願いいたします。</p>
<p>三富委員長</p>	<p>それでは議題（1）に入る前に、会議録署名人の指名についてであります。慣例により私から指名するという事で、よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>三富委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、石井喜美子委員と高橋栄二委員でよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>三富委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、会議録署名人は、石井喜美子委員と高橋栄二委員に決定いたします。</p> <p>それでは、議題（1）「平成27年度富津市社会教育事業について」、事務局より説明を求めます。</p>
<p>(事務局) 山口課長</p>	<p>議題（1）「平成27年度富津市社会教育事業について」の説明をさせていただきます。資料は、「教育委員会の点検・評価(案)抜粋（平成27年度対象）」により説明させていただきます。</p> <p>この教育委員会の点検・評価は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項に基づき、教育委員会の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関して報告書を作成・公表しなければならないという規定により、毎年</p>

作成しているものです。

平成 27 年度事業については、現在（案）の状況でございますが、生涯学習課に関する事業の取組状況につきまして、簡単に説明させていただきます。

生涯学習課は、社会教育係、文化係、スポーツ振興係の 3 係に分かれまして事業を行っております。最初に社会教育係、文化係が所掌する事務について申し上げます。

13 ページをご覧ください。2. 生涯学習の充実、青少年健全育成、文化・芸術活動の推進、文化財の保護と活用でございますが、この表は、富津市第 3 次基本計画及び生涯学習推進計画の各施策目標値と到達点を掲載しておりまして、右欄が 27 年度の実績値となっております。

14 ページ・15 ページが社会教育係及び文化係が行った主な事業と決算見込額が①となっております。②に取組の概要が、③が今後の方向性を記載してございます。

生涯学習推進事業では、生涯学習推進大会が平成 27 年度から休止となり、事業としては生涯学習情報提供誌の発行のみとなりました。まちの先生や出前講座などの学習支援の活用を引き続き促しながら、生涯学習推進体制の見直しを図ってまいりたいと考えます。

生涯学習バス設置事業では、昨年度の「富津市事業仕分け」をうけて、現行 2 台の生涯学習バスの運行について、事業の見直しが必要であるとの意見などから、平成 28 年度に向け、運行形態や利用方法について検討いたしました。老朽化が進んでいる車両の更新について、1 台分の予算を要求いたしました。今後、安全で快適な生涯学習活動が図られるよう努めてまいりたいと考えています。

図書費・移動図書館事業については、簡易型図書貸出システムを導入したことにより貸出・返却を迅速に処理できるようになりました。また、貸出可能冊数を 6 冊に増やしました。

年間利用冊数は1割ほど減少（前年度比-2,635冊）いたしましたが、図書のリクエスト（721冊）や予約（390冊）の受付件数は増加傾向にありますので、今後は利用者のニーズの把握や図書検索の利便性を高めるため、本格的な図書貸出システムの導入など、環境整備に努め、サービスの向上が図られるよう取り組んでいきたいと考えます。

文化財関係事業では、市内6か所の発掘調査や、出土した遺物の基礎整理作業、文化財周知看板の新設、改修などを行いました。

史跡見学会や出前講座などへの参加者も多く、市の歴史や文化財への関心も高いことから、引き続き市ホームページの充実、活用を進め広報活動に努めてまいります。

次に、スポーツ振興係が所掌している事業に関しご説明いたします。23ページをご覧ください。この表は先ほどと同様に、富津市第3次基本計画及び生涯学習推進計画の各施策目標値と到達点を掲載しておりまして、右欄が平成27年度の実績値となっております。

取組状況につきましては、同様に①が、主な事業と決算見込額、②が取組の概要、③が今後の方向性について記載してございます。スポーツ振興係では、社会体育振興事業として、市民がスポーツに親しみ、健康づくり、体力づくりをし、豊かな生活が営まれるよう各種スポーツイベントなどを毎年実施しております。ペタンクやドッジビーなど手軽に実施できるニュースポーツの普及にも努めております。今後も、スポーツ推進委員などと連携を図りながら、参加者の増加に向けて検討してまいります。

体育施設管理運営事業では、公益財団法人富津市施設利用振興公社を指定管理者として、長年のノウハウを生かした施設の管理運営をお願いしております。

小中学校体育施設開放事業については、市民の体力づくり、

	<p>健康づくり、レクリエーション活動のために活用されております。</p> <p>千葉県民マラソン大会は、市民などの心身の健全な発達とスポーツ振興と観光振興に寄与することを目的として、千葉日报社と協力して実施し、富津市での開催は平成 27 年度で 9 回目となりました。地元住民による沿道応援や市内からのボランティア参加。会場内での各種イベントなども合わせて行うことで大会の活性化が図られております。</p> <p>以上が生涯学習課の主な実施事業です。時間の関係で詳細にお話できませんでしたが、後ほどご覧いただき今後の活動の参考資料となれば幸いです。</p> <p>なお、正式な報告書は後日、市のホームページに掲載いたしますので、そちらでもご覧いただければと思います。</p>
三富委員長	事務局からの説明は終わりました。委員の皆さんから、ご質問などございますか。
各委員	特になし。
三富委員長	特にないようですので、議題（2）「平成 28 年度富津市社会教育事業について」を議題といたします。事務局より説明を求めます。
(事務局) 伊藤係長	<p>議題（2）「平成 28 年度富津市社会教育事業について」説明させていただきます。議題（1）で説明したことと重複した内容は避けて説明させていただきます。</p> <p>1 「社会教育委員会議」は、社会教育行政におきましては最重要機関です。3・4 「社会教育指導員の設置」及び「家庭教育指導員の設置」では、本日出席している指導員を各公民館などに配置し、助言や指導を行っております。5 「生涯学習推進</p>



計画に基づく生涯学習基本施策の推進」は、現状では弱まりつつあり、次の議題において詳しく説明いたします。7・8では、青少年育成団体への活動の補助を行っております。9「図書館の充実」においては、先ほど委員長から話がありましたが、80市町村あった頃は唯一の図書館がない市であっただろうと思います。近年に大網白里が市となったため、県内の市で図書館設置がなされていないのは3市となりました。富津市では司書が1名のみのため、その人員で3館の図書室や移動図書館車の運営などを行っております。0歳児から本に親しんでもらうという「ブックスタート事業」を、県が力を入れて、全市町村でやるよう推進していますが、富津市では実施に至っておらず、未実施の市町村は銚子市、白子町との3市町となっています。内容としては健診の時などに絵本のリストを渡すなどの簡易なものでもよいのですが、それも実施できてはいません。これについては、今年度中にはなにかしらの動きを起こしたいと考えています。10「学級・講座の開設」では、公民館などでの講座のほか各校のPTAなど中心となった家庭教育学級というものの支援をしています。支援内容は家庭教育学級において講師を招くときに、その講師料を負担するといった形になります。学校現場は多忙であり、この事業形態は事業の丸投げではないかとの意見をもらうことがあります。生涯学習課である程度のプログラムの作成や研修会などを行う必要があるのではないかと感じております。11・12の視聴覚教育の関係では、16mm映写機などのレトロな機器やDVDなどの映像を用い、視覚に訴える有効な教育方法です。しかし、現代では映像機器が安易に入手できるため、貸し出し実績が減少しています。16mm映写機は文化財のような要素もあり、普段はなかなか利用すること機会がないような機材です。操作についての講習会もありますので、皆さんの所属団体の活動において利用してみるのはいかがでしょうか。13・14の関係では、本市は近隣の君津・木更津市に続いて、

委員の自主研修を昨年実施いたしました。しかし、社会教育関係職員の研修は設けることができておりません。県が実施する研修会や4市で行う研修会に引き続き参加していくよう努めていきます。委員の皆さんにおいては、全国大会や4市の大会などには、研修の一環として参加していただければと考えております。詳細については、後の議題においてご説明いたします。

15「県令達事業」については、資料のような事業が実施されています。16～18の公民館関連事業は、公民館運営審議会で検討などがなされております。

続いて、文化事業についてご説明いたします。1「富津市文化財審議会」は、富津市文化財の保護に関する条例に基づいて、文化財保護の方向性を決めるなど、重要な事項について審議する会議となっております。2では、開発行為によって失われるおそれのある文化財を記録にとどめる作業を行っております。現在専門職員が2名おります。文化財周知事業として、文化財看板のリニューアルや設置を行っていますが、人員不足によって展示会などが十分に行えておりません。社会教育の一環としてこれらも整備していく必要があります。

最後に、スポーツ推進事業についてご説明いたします。各種行事を年間通して実施しており、それに伴う草刈りなどの準備を教育部職員などで行っております。以上となります。

三富委員長

事務局からの説明は終わりました。委員の皆さんから、ご質問などございますか。

磯貝委員

子どもの読書推進の関係で「ブックスタート事業」の話が出ましたが、近隣の自治体ではボランティアがよく活動しております。声をかければ、協力してくれる方がいるかと思っておりますので、実施できればよいなと考えております。

<p>杉田 副委員長</p>	<p>君津市はここ数年で実施しはじめたようであり、最初は図書館で講師を招き、ボランティアを対象とした勉強会を行ったようです。私は月に1回、仲間とともに大網白里市へ勉強に行っており、その方が講師に呼ばれたというのを知っていました。</p> <p>ブックスタート事業は様々なやり方がありますので、まず、富津市ではどういう形で始めるか、どのように展開していくか考えてもらいたいです。</p> <p>先ほど話が出た大網白里市では、図書館はなくても、図書室が有効に動いています。図書館がない中でどのようにやっているかの参考になるのではないのでしょうか。</p>
<p>三富委員長</p>	<p>私は以前、図書館があるとよいと考えていましたが、今は費用対効果を考えたうえで検討をする必要があると思います。</p> <p>杉田副委員長は、事務局には参加の方法を情報提供してほしいという趣旨の提案だと思います。</p>
<p>(事務局) 伊藤係長</p>	<p>いままで事務局は予算がないから難しいというような消極的な事業形態であったと思います。</p> <p>生涯学習課からボランティアの方々に呼びかけていかなければならないと思います。また、健康福祉部局と連携して、子どもが本に親しむようなきっかけを作る環境を整備していきたいとも考えています。</p>
<p>三富委員長</p>	<p>ほかにはないので、議題(3)「富津市生涯学習推進体制と社会教育委員について」を議題といたします。事務局より説明を求めます。</p>
<p>(事務局) 伊藤係長</p>	<p>富津市には、「富津市生涯学習推進計画」というものがあり、これは平成12年に策定されたものです。当時は石井喜美子委員が派遣社会教育主事として計画の策定に携わられていました。</p>

国を挙げて生涯学習を推進していこうという流れの中で、決定機関である「生涯学習推進本部」が、平成10年に市長を本部長として設置されました。翌年には市民らを委員とした「生涯学習推進協議会」も設置されました。このような体制の中で市民に対するアンケートの結果なども検討しながら作成されたのが「生涯学習推進計画」です。生涯学習推進協議会の役割として、生涯学習推進計画の策定と生涯学習推進大会の企画があります。生涯学習推進大会は、当初の生涯学習の浸透が果たせたという評価及び財政事情によって、平成26年度をもって休止となりました。これに伴い生涯学習推進協議会自体も休止状態となっております。これらは廃止ではなく休止であり、廃止とするためには後継となる会を機能させ、生涯学習推進本部での決定を経る必要があります。一方で、社会教育委員会議と生涯学習推進協議会の役割がかなり重複しているという見方もあります。

市の生涯学習施策における最上位は「富津市基本構想」という大綱のようなものがあり、その中に「人と自然と文化を愛し、潤いのあるふるさと“ふつつ”づくり」というテーマがあります。ほかにも資料にあるとおり「市民憲章」にも目標を掲げております。また、「学びからいきがいを 生きがいをまちづくりへ」という基本理念の下、「富津市生涯学習基本施策」にあるような具体的な施策を掲げて生涯学習の振興に努めております。

このように、生涯学習振興は単独で掲げられているわけではなく、市全体の指針に基づいて、決定されております。現在は「第3次生涯学習推進計画」の期間が終了しており、今年度から新たな計画のもとに事業が実施されるべきところですが、市の上位計画である「富津市基本計画」の更新がしばらく見合わされ、これにならって生涯学習推進計画も従来のもを継続することになっておりますが、求められる施策が変化していることもありますので、市民のニーズの把握や施策の検討に努める必要が

あります。先ほども触れましたが、社会教育委員会が生涯学習推進協議会を包含する形で、この会議で検討していただけたらと考えております。

個々が自主的に学んでその力がまちづくりになっていくという生涯学習の考えを実現させる手段として、人と人とのつながりを重視した社会教育の力が、国の動向としましても、求められるようになってきております。

今年度中に新たな生涯学習推進計画について検討を始め、上位の計画が策定されたらすぐにでもそれに基づいた計画を検討できるような段階まで持っていきたいと事務局では考えております。その際には、委員の皆さまのお力を貸していただければと思います。

三富委員長

事務局からの説明は終わりました。事務局からは今の生涯学習・社会教育に関する推進体制が、継続はしているが昨年度で当初の計画期間は終了しており、来年度からどのようにするか意見を求めるということです。

委員の皆さんから、ご質問などございますか。

石井喜美子  
委員

かつて、「富津市生涯学習推進計画（第1次）」の策定を行った立場として、懐かしく感じています。当時と比べて、生涯学習・社会教育に求められている役割は変容しているように思えます。社会教育には人と人をつなぐコーディネーターのような役割が求められていると思います。勉強を重ねていったうえで、見つめ直していければと考えています。

三富委員長

ここにいらっしゃる委員の皆さんは、それぞれの団体の代表として出席していただいております。難しく考えず、それぞれの団体の活動から意見を述べていただければと思います。

大野委員	<p>私は生涯学習推進協議会が休会になる前は、会長を務めておりました。社会教育、学校教育などという言葉は少し硬い印象を受けます。新たに生涯学習推進協議会の後継の会議が発足するとしたら、生涯学習という言葉を残していただいたり、市民の方が馴染みやすいような用語を使うと親しみやすいのかなと思います。</p>
三富委員長	<p>昨年度に公民館図書室などを視察したものを更に推し進め、今年度は生涯学習推進体制の検討にシフトしていければと思います。そこで提案ですが、委員の皆さんに協力をいただき、推進計画部会や図書館部会などに分かれて活動してみるのはいかがかと思います。今年度はやれる範囲内ということで、皆さんのご意見はいかがでしょう。</p>
石井聡委員	<p>審議内容が大きいものであるため、その都度に事務局から説明を受け審議するという形で協力していきたいと考えます。</p>
高橋委員	<p>具体的な案を出してもらい、それについて審議する方法が良いと考えます。ただ、委員長が部会にて活動をしていくというお考えなら、協力していきたいと思います。</p>
宮内委員	<p>資料の「今後の生涯学習・社会教育の振興の具体的方策」にあるように、具体的な内容について、審議していく方法が良いと考えます。</p>
三富委員長	<p>この推進計画部会や図書館部会などの構想は、事務局を交えながらまとめていこうと考えていました。これは私と副委員長、事務局だけではできません。他市がやっているの富津市もやるという考えなのではなく、富津市は富津市でやれる範囲において、部会にて社会教育委員としての仕事をやればと考えて</p>

います。今年度は全国大会や君津地区大会が控えておりますので、やれる範囲内でやっていこうではありませんか。確かにこの会議で様々な議案を審議することも重要ですが、アクションを起こしていければと思います。各委員におかれましては、ご協力をお願いしたいと思います。

(事務局)  
伊藤係長

委員長の部会でやっていくという構想は昨年度に行った自主研修の延長であり、進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。年2回の定例会に加えて、1回の臨時会を開催することも検討していきたいと考えています。

図書の課題は会議の冒頭からあるように、議会でも図書館の整備について検討していくとの方針を出しております。これを含めた多くの課題を考えていただきたいと思います。例えば、施設の空いている場所を使ってみてはどうかなどの意見に対して検討を加えていただければと思います。委員の皆さんには、様々な活動をしていただき、その結果として正式な諮問・答申とはならないかもしれませんが、教育委員会の考えとして推し進めていくことができると思いますので、よろしく申し上げます。

三富委員長

では、できる範囲内でご協力いただければと思います。

続いて、議題(4)「富津市社会教育委員の活動について」を議題といたします。事務局より説明を求めます。

(事務局)  
伊藤係長

昨年度に初めて定例会2回に加えて、自主研修を行いました。実際に富津市における社会教育上の課題である図書室の現状について調査するという自主的な取り組みがありました。富津市における社会教育委員の活動において、画期的な取り組みであったと思います。それに加えて臨時会も開催するという予定もございました。1月26日の研修会における出席委員及び欠席委

員の意見をまとめたことも1つの成果であると思います。昨年度末の定例会に出席した際は非常に感銘を受けました。

この会議の目的ですが、資料に係る法律、条例、規則があります。そのうち、社会教育法には、

(社会教育委員の職務)

#### 第17条

社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
  - 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
  - 三 前二号の職務を行うために必要な調査研究を行うこと。
- と規定されています。

法律に規定されているような活動を昨年度は始めることができたのではないかと思います。この会議は社会教育に関する唯一の諮問機関となります。今年度は図書について皆さんから意見をいただきたいと思います。

昨年の活動はこういった活動を行う上では、よい前段階になったのではないかと思います。委員長は以前から部会を作り、活動していきたいという構想を持っており、その思いに生涯学習課も乗せさせていただくという形になりました。富津市に対する皆さんのご協力がいただければと思います。

三富委員長

社会教育法第17条の委員の職務ということで説明がありました。なかなかこの規定の通りに活動ができるかというところではありません。社会教育委員の役割をそれぞれが消化し、各々の団体で役立てていただければと思います。

続いて、「4市の推進大会と全国大会について」の説明を事務局からお願いします。



(事務局)  
伊藤係長

まず、7月9日、午後2時から行われる「第51回君津地方社会教育推進大会」について説明します。毎年4市における社会教育の功労者の表彰があり、富津市からは公民館運営審議会の宮崎和子氏と手塚清美氏が表彰される予定です。記念講演会は社会教育での長い経験を生かし、東日本大震災の際にご活躍された宗片氏をお招きしております。大変参考になるのではないかと思います。

今年度は、「第58回全国社会教育研究大会千葉大会・第47回関東甲信越静社会教育研究大会・第51回千葉県社会教育研究大会」ということで、全国大会が千葉県を会場として開催されます。この大会は参加費が1名5,000円かかりますが、委員の皆さんは研修の一環ということで、市が参加費を負担させていただきます。10月26日は理事会ということで、我々が参加するのは27日・28日です。27日は講演などで構成されており、4市の大会のような内容となっています。28日は「千葉で語り合おう」という大会スローガンのもと、少人数でのテーマを決めた語り合いが行われます。全国から集まる社会教育関係者とぜひ情報交換等をしてください。申し込みは事務局から一括して行いますが、どの分科会に参加するかはご検討ください。委員長と私は実行委員として別行動となりますが、ぜひ多くの委員に参加をいただければと思います。

三富委員長

この全国大会は中山実行委員長より「オール千葉でやりましょう」ということになっておりますので、奮ってご参加いただきたいと思います。県内外あわせて1,200名余りが参加予定ですので、全国の方と情報交換をしていただければと思います。

3日目の分科会は袖ヶ浦市の二宮委員長が責任者となっておりますので、ぜひ参加いただければと思います。

また、富津市内の7企業から協賛金という形でご協力をいただいております。他にどなたかありますでしょうか。

<p>杉田 副委員長</p>	<p>事務局から説明があった、点検評価について質問があります。人材バンク「まちの先生」において、平成 27 年度の目標値が 20 件であるのに対し、実績値は 45 件と大きく上回っています。これは、目標値が低いのか、それとも他に理由があるのかお聞きしたいです。</p>
<p>(事務局) 伊藤係長</p>	<p>「まちの先生」を利用する前には計画書、利用後には報告書を出すことになっておりますが、全部がこの手続きをしているわけではありませんでした。それを踏まえて目標を 20 件と決めました。平成 24 年度からは、各登録者に実績の報告を求める方法といたしました。一昨年度は 68 件の実績がありました。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>多くの方が活用できているのは良い傾向だと思います。「まちの先生」には多くの方が登録しておりますので、利用者が積極的に利用できるような環境が必要ではないかと思います。</p>
<p>石井喜美子 委員</p>	<p>富津中学校の生徒が小学校に出向き、地域の昔話をする事となっています。このような取り組みをもっと周知していければと思います。</p>
<p>三富委員長</p>	<p>他にないようですので、これで本日の会議はすべて終了いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます、事務局に進行をお返しいたします。</p>
<p>(事務局) 山口課長</p>	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、平成 28 年度第 1 回富津市社会教育委員会会議を閉会といたします。大変お疲れさまでございました。</p>